

福岡市ってどんなところ？－福岡市の現在－

見開きを通して学ぶこと

福岡市の概要を、様々なデータを
読み取って分析しよう。

学習の対象



鍛える「地理的見方・考え方」

- ・都市を分析する「視点」を設定しよう。
- ・適切な資料を探し出して、分析する力を身に着けよう。

- ① Yahoo!ドーム
- ② 福岡県庁
- ③ 天神地区(繁華街)
- ④ 博多駅(完成イメージ)

福岡市を学習する「視点」を考える

福岡市を調べるようになったひとし君とけいこさんは、福岡市の資料を探して学校へ持っていきました。



ひとしくん けいこさん



こばら先生

ひとし「ねえねえけいこさん、この雑誌の『住みたい地方都市ランキング』っていうので福岡市が1位になっているよ。」

けいこ「すごいね。それってどんな基準で順位が決められているの？」

ひとし「この記事では、アート・グルメ・祭りとかの「文化」っていう視点で、何人かにインタビューして決めたみたいだね。」

けいこ「そうなんだ…でも、それだと基準があいまいで分かりにくい？」

ひとし「確かにそうだね。う～ん…けいこさんが持ってきたのはどんな資料？」

けいこ「私は福岡市の人口の推移を表したグラフを見つけたよ。ほら見て、福岡市の人口は年々増加しているでしょ。」

こばら先生「おもしろい資料ですね。なぜ福岡市の人口は増え続けているんだろうね？ひとし君が持ってきた鉄道会社の路線図がヒントにならないかな？」

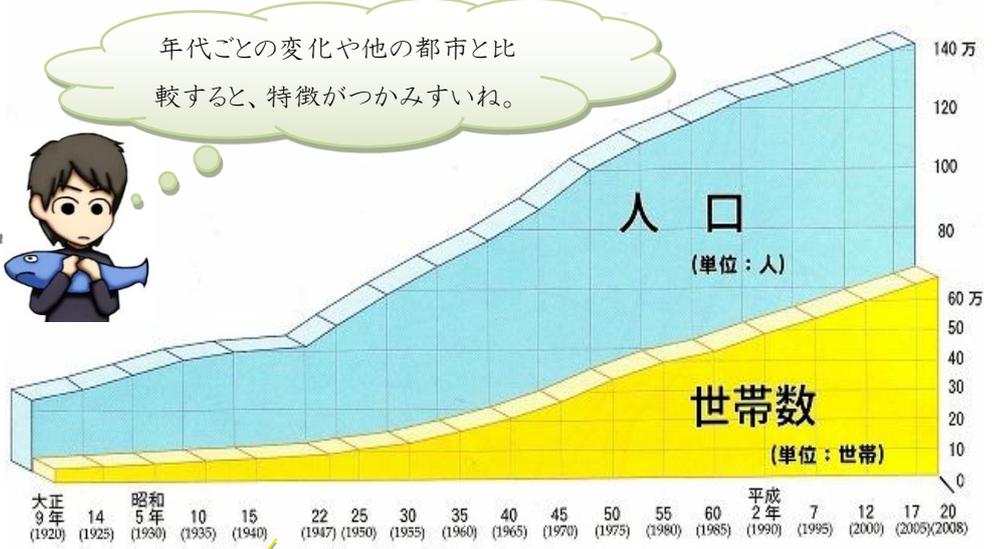
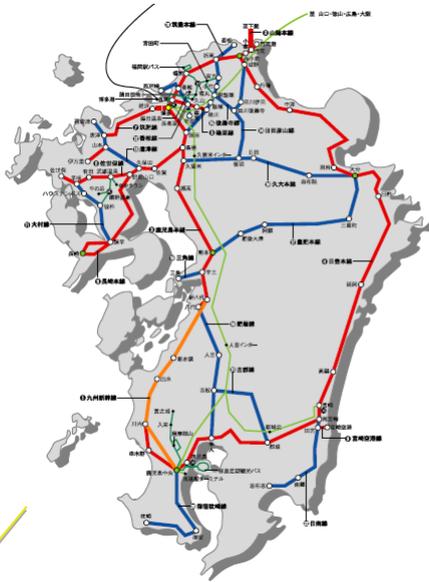
ひとし「あ、福岡市のあたりに路線が集中してるね。ということは、福岡市のアクセスはとていいね！だから人が集まるのかな？」

こばら先生「いいですね。都市を分析するときは、適切な資料を探して、それらを組み合わせて考えることが大切です。この学習を通して、福岡市の特色だけでなく、福岡市のような大きな都市を見る際の「視点」を探していきましょう。」

活動

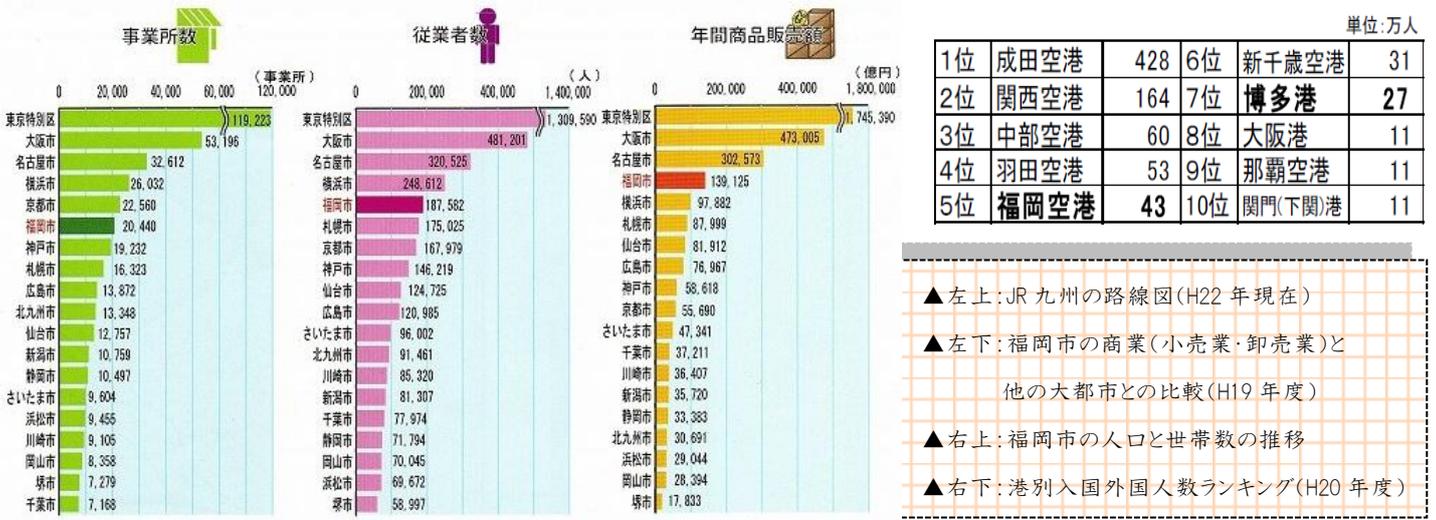
資料集やホームページなどの統計から、福岡市に関するデータを集めてみよう。

1. 地域の中心地として機能する都市－福岡市－



どんな地域や都市に路線が集中しているだろう？

人口と世帯数の増加に差があるのはなぜだろう？



- ▲ 左上: JR九州の路線図(H22年現在)
- ▲ 左下: 福岡市の商業(小売業・卸売業)と他の大都市との比較(H19年度)
- ▲ 右上: 福岡市の人口と世帯数の推移
- ▲ 右下: 港別入国外国人数ランキング(H20年度)

A 資料から特徴を読みとる

- 上のそれぞれの資料から読み取れる、福岡市の特徴を挙げていこう。
 左上の資料から、福岡市は _____ といえる。
 左下の資料から、福岡市は _____ といえる。
 右上の資料から、福岡市は _____ といえる。
 右下の資料から、福岡市は _____ といえる。

B テーマに適した資料を選び、活用する

- 福岡市に関連するデータを集めて、福岡市の特徴を考えてみよう(カッコは自分で視点を設定してみよう)。さらに、政令指定都市の一つ選んで、福岡市と同じ視点からその都市の特徴を考えてみよう。

ステップアップ

二つの都市に共通する点や異なる点はどこだろうか？なぜそのような特徴が見られるのだろうか？

都市	人口・人口密度	主要な産業	交通の利便性	観光資源	()
福岡市	約 143.8 万人 4,215 人/km ² 全国第 8 位		鉄道や新幹線が通り、九州全体に素早く移動できる		
()市	約 万人 人/km ² 全国第 位				

どうして福岡市は九州地方の中心なの？ －地方中枢都市がもつ機能－

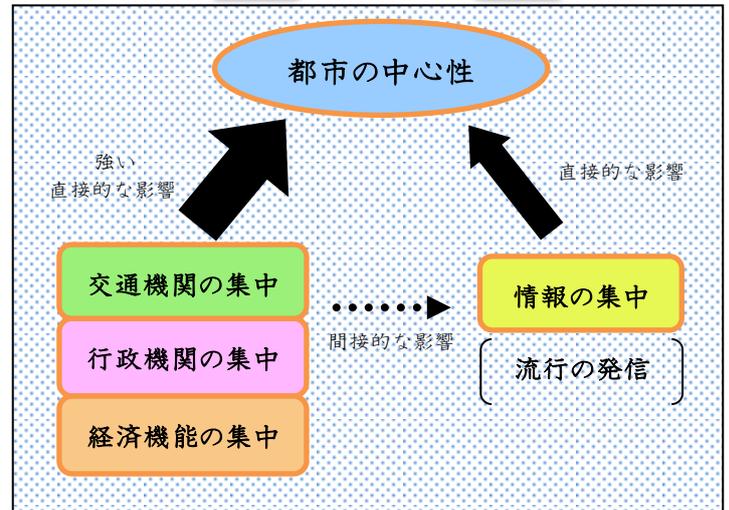
見開きを通して学ぶこと

地方中枢都市としての福岡市がもつ「中心性」について考えよう。

鍛える「地理的見方・考え方」

- ・都市の歴史的な発展が現在に及ぼす影響について考えよう。
- ・資料を比較して、示されている理論をもとに推測しよう。

学習の見取り図



▲都市の中心性をあらわす構造図

A 福岡市の歴史的発展

※双子都市とは、地理的に隣り合った2つの都市が、都市の成長によって一つの都市圏を形成した状態のこと。

福岡市は、かつて「博多」とよばれ、古くから中国・朝鮮半島との交易の拠点として栄えた港町であり、町人でにぎわう町でした。江戸時代に博多を治めた福岡藩が福岡城を築くと、城下町としての地区を「福岡」、港町としての地区を「博多」として区別し、それぞれ隣り合った双子都市※として栄えました。

明治時代に入って、博多と福岡はともに「福岡市」として再び一つの地域になりました。この時期に、博多駅を拠点として九州の鉄道網が整備されていきました。しかし、その時点では、政治的・軍事的な拠点は熊本市や長崎市などの別の都市に置かれており、福岡市は九州の中の一つの大きな都市にすぎませんでした。

B 地方の「中心」としての機能



高層ビルや文化施設が立ち並び「シーサイドももち」地区

昭和になると、長崎に置かれていた控訴院(高等裁判所の前身)や警察予備隊などの九州における行政の出先機関が福岡市に置かれるようになりました。これに加えて、多くの企業が九州地方の拠点として支社や営業所を福岡市に設置したり、従来からの港町としての強みを生かし、外国製品の輸入の玄関口となるなど、経済の中心地としても発展しました。さらに、福岡市を拠点として鉄道や新幹線だけでなく、高速道路や福岡空港ができ、九州地方における交通の要衝としての地位を確立しました。このように、地方中枢都市とよばれる都市は、その地方における行政・経済・交通の中心としての役割を担っているのです。

C 情報の集積地としての機能

地方中枢都市は、その中心性によって九州じゅうから多くの情報が集まり、情報の集積地としての機能も果たしています。情報が集積することで、都市の「中心性」はさらに高まります。また、これらの都市で生み出される文化は、地域に強い影響を持つようになり、流行の発信地としての機能も持つようになります。それらの情報を敏感にキャッチしようと、企業だけでなく、他県の地方自治体(たとえば長崎県の松浦市や対馬市)でも、福岡市に独自の事務所を設置しているところがあります。

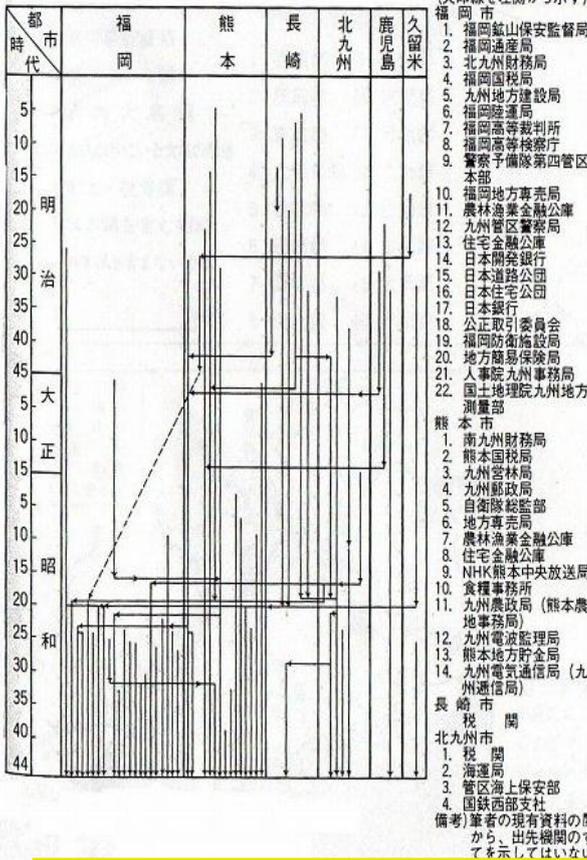
1. 地域の中心地として機能する都市－福岡市－



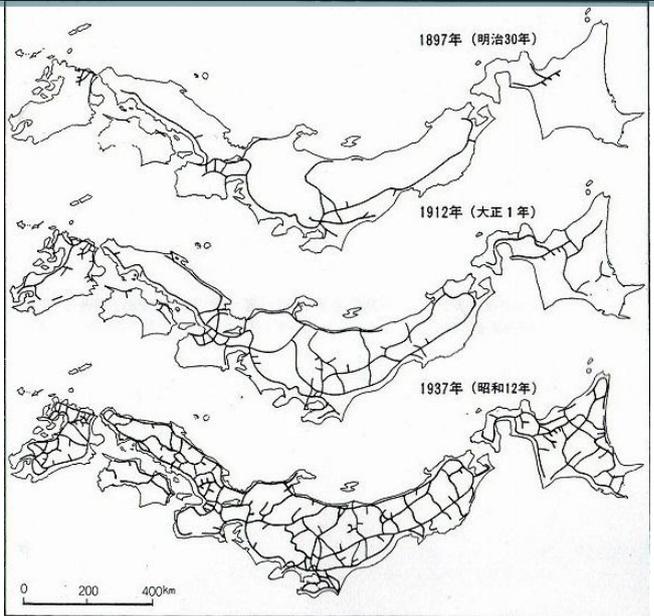
都市の機能の歴史的な移り
 変わりを見ると、現在の都市
 がある背景が見えてくるね。



福岡市は、古くからアジアとの懸け橋として発展してきたんだ。「博多」は中世や近世を通して商業のまちとして栄えたことで、『博多駅』や『博多区』など、いまでもその面影を残しているんだよ。戦後になって福岡市は開発によってさらに発展していった。私が働いている福岡市博物館は、文教地区として港湾部の埋め立てで新たに作られた地区に立地していて、福岡市以外から来た人に福岡市を紹介するための窓口としての役割も担っているんだ。



九州の路線はどのように伸びているだろうか？



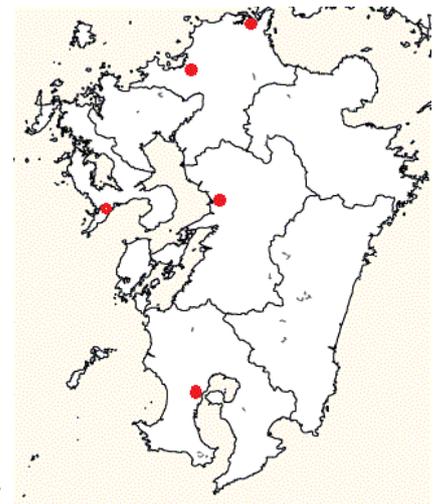
- ▲左:九州における中央官庁などの出先機関所在地の移り変わり
- ▲右上:福岡市博物館副館長さんのお話
- ▲右下:全国の鉄道網の発達の流れ

出先機関が福岡に集中するようになったのはいつごろだろう？

- A 言葉の意味を調べる
- B 事実を例示する
- C 事実を比較し、理論を応用する

1. 左ページで太字になっている次の語句の意味を調べよう。
 (港町・城下町・出先機関・支社・営業所・地方中枢都市)

- 国土交通省の「地方運輸局」「運輸支局」の位置を、右の九州地方の地図に書き込もう。
- 右の地図中の赤い印は、全国に展開する電気機器会社の、九州地方における販売会社の分布です。2の国土交通省の分布と比較してみよう。また、なぜ違うのかも考えてみよう。



国土交通省は
 なのに対して

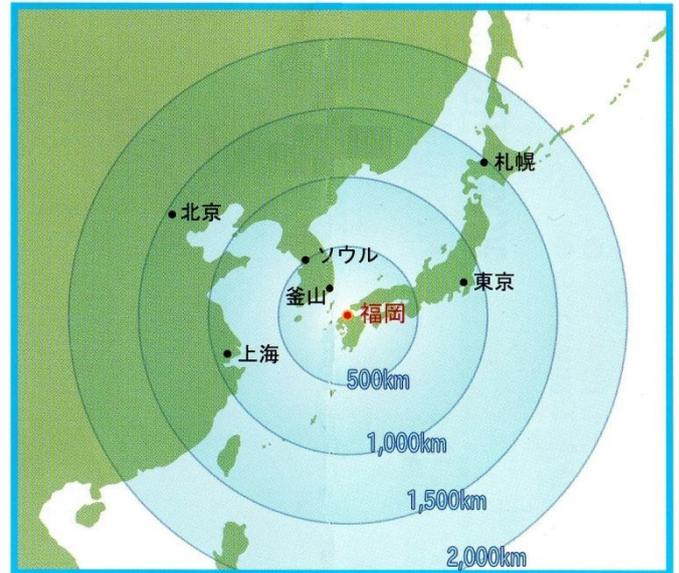
電気機器会社は
 というちがいが
 が見られる。

福岡市はこれからどうなるの？ －アジアと共に成長する福岡市－

見開きを通して学ぶこと

- ・福岡市が「アジア」を意識した戦略をとる理由を考えよう。

学習の対象



▲福岡市から見た日本やアジアの大都市までの距離

鍛える「地理的見方・考え方」

- ・現在の日本の都市が抱えている課題を考えよう。
- ・地理的な現象の原因や影響を、資料をもとに推測しよう。
- ・構築した理論をもとに事実を分析し、自らの意見を主張しよう。

A アジアと近い福岡市

これまで学んだように、古くからアジアの玄関口として発展してきた福岡市ですが、その大きな要因はアジアからの地理的な「近さ」にあります。上のように、福岡市を地図の中心においてコンパスで等間隔に円を描くと、福岡から大阪と()が、東京と()が、札幌と()が、それぞれ同じくらいの距離にあることがわかります。

B アジアを取り込む戦略

この利点を生かして、福岡市ではアジアの人材育成の拠点を目指して、アジア人研究者や留学生を積極的に受け入れたり、アジア企業を積極的に誘致できるように環境整備をしたりしています。また、文化面での交流もさかんに行われています。福岡市は、福岡県や九州地方の中心地であるだけでなく、アジアと共に成長する都市という戦略を、将来の展望に掲げています。

C 福岡市の学習を終えて

ひとし「博多のまちってよく歴史の教科書に出てくるけど、福岡市はずっと九州の中心ではなかったんだね。福岡市は、人を集めて成り立つ都市だっていうことが分かったよ。」

けいこ「私は、福岡から東京へ行くよりも韓国へ行くほうが近かってことに驚いたな。このことを考えると、福岡がアジアに目を向けているっていうのもうなずけるよね。」

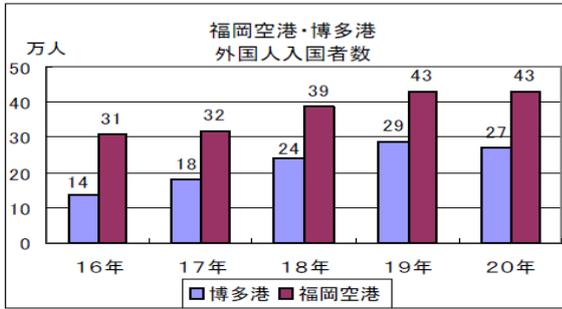
福岡市は、日本とアジアの架け橋として重要な役割を果たす都市だと思う。」
こばら先生「福岡市の学習を通じて、二人はいろいろなことを感じたようだね。大都市

ならば、人が多く住んでいるといったような事実だけでなく、地域の中心地としての機能を強化したり、これからの社会のなかで新たな発展の可能性を模索したりと、そこに住む人たちが様々なことを考えて、都市を形作っていることがわかります。他の福岡県の都市や、いま私たちが住んでいるこのまちは、どのような性格を持っているでしょう？福岡市で学んだ「視点」を生かして、皆さん自身で考えてみましょう。」

活動

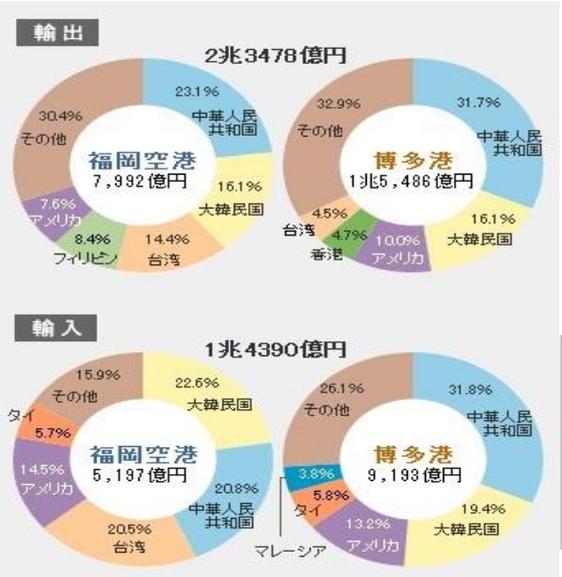
地図帳を用いて、周辺のアジア諸国や日本の大都市までの距離を調べ、()の中に書き込んでみよう。

1. 地域の中心地として機能する都市－福岡市－



博多港から入港する外国人は、どの国の人が多いだろう？

福岡市は、地理的・歴史的にみてアジアとのつながりがとても深いまちです。現在、少子高齢化によって国内の経済が衰退していく中で、福岡市が成長を続けていくためには、成長著しいアジアの活力を取り入れ、アジアと一緒に成長していくことが欠かせません。具体的な戦略として、アジア企業を誘致したり、観光客を集めたりするキャンペーンを行っています。実際、中国からの来客数は以前に比べて6倍にも跳ね上がっています。福岡市は、グローバル化の流れに乗って、これからも成長していきますよ。



- ▲左上: 福岡空港・博多港からの外国人入国者の数
- ▲左下: 福岡空港・博多港の外国との貿易の状況(H19年度)
- ▲右上: 福岡県庁職員さんのお話
- ▲右下: 駅の改札に掲げられている看板

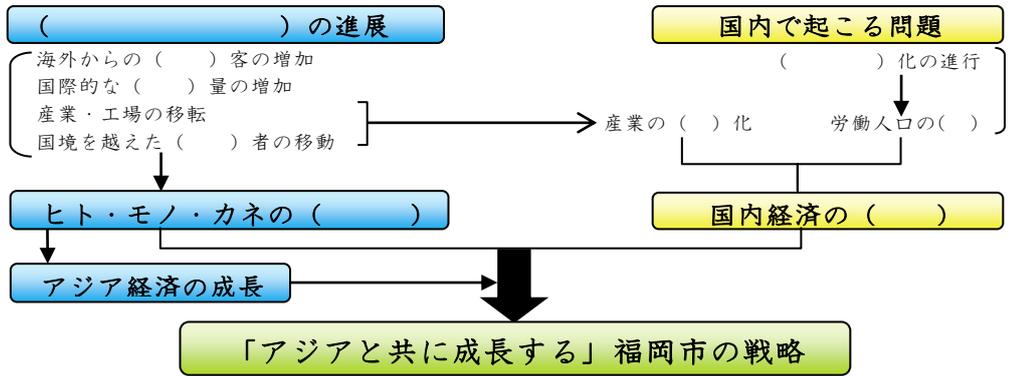
A 言葉の意味を調べる

B 原因・影響を推測する

毎年9月をメインに福岡市内各地で行われるイベント「アジアマンス」的一幕。映画祭、ステージでの踊りのパフォーマンスなど、多彩なイベントが行われる。

C 理論を活用して意見を主張する

- 次の語句の意味を調べよう。
〔 グローバリゼーション・少子高齢化・産業の空洞化 〕
- なぜ福岡市は「アジアと共に成長する都市」を戦略に掲げているのだろう？ 次の図の()を埋めてモデル図を完成させ、その理由を説明してみよう。



- あなたが普段生活している中で、「アジア」を身近に感じる場面を挙げてみよう。また、上のモデル図と照らし合わせて、その要因を説明してみよう。

「アジア」を感じる場面	それが身近に存在する理由

- 現在、福岡市のようにアジアからの観光客はもちろん、外国人留学生や労働者を積極的に受け入れようとする自治体が増えています。あなたのまちが福岡市のような政策をとろうとしたとき、あなたは支持しますか、支持しませんか？ あなたのまちが抱えている課題を挙げたうえで、その解決策として福岡市のような政策をとることが望ましいか、という視点からあなたの意見を主張してみよう。